

山梨県民への交通安全啓発動画を作成！

～武田軍による交通安全の教え！ 高齢者交通事故・飲酒運転・自転車事故について～

日本損害保険協会 関東支部 山梨損保会（会長：梶山 治哉 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 山梨支店 支店長）では、山梨県警と連携し、山梨県民に交通安全への意識をより高めてもらうため、ご当地の戦国大名である武田信玄公や武田家臣団が、交通安全への解説者として出演（イラスト）する啓発動画「武田軍による交通安全の教え！」を作成し、ホームページに掲載しました。

動画のストーリーは、県内に在住する夫婦が登場し、主人公の夫が車や自転車を利用する日常生活の中で、運転・使用中にヒヤリとする場面に遭遇、或いは、交通ルールに違反するような行動を起こそうとしたときに、間髪を入れずに武田信玄公と武田軍が登場。まず、武田信玄公が男性に一言「もう一押しこそ慎重になれ！」と訴えます。さらに、事故の現状についての解説などがあり、続いて、武田家臣団がさらに詳しく補足説明（県警の担当官が説明）、再び、信玄公が注意喚起を強く訴えます。

動画は、「交通事故篇」、「飲酒運転篇」、「自転車篇」の三つに分かれています。

「交通事故篇」は、主人公が車を運転中に危うく衝突しそうな場面で、高齢者は安全運転を心がけていても、思わぬ結果を招くことがあると指摘し、続いて、高齢者事故の原因や現状について説明があり、「自分は大丈夫と過信せず、緊張感を持って、慎重に運転することが必要」と呼びかけています。

「飲酒運転篇」は、車で飲み会に出かけた主人公が飲酒後に「家まですぐ近くだから」と運転しようとする場面で、「飲酒運転は身の破滅を招く」との強い注意喚起があり、酒酔い運転や死亡事故を起こした場合などの罰則の説明、飲酒事故の死亡率の高さを指摘し、「酒を飲んで車を運転するのはとても危険」と呼びかけています。

「自転車篇」は、車の出会い頭の危険をイメージした主人公の男性が、自転車を使用して買い物に出かけたところ、右折時に危うく衝突しそうな場面で、車と同様に「加齢によって身体機能が全体的に衰えたことで、事故が多くなっている」と指摘、高齢者の自転車事故の特徴の説明がされています。また、自動車やバイクと同様に緊張感を持って慎重に運転することやヘルメット着用の重要性も呼びかけています。

本動画については、山梨県警のホームページでも案内して、県民の皆様に広く周知していきます。

交通安全は決して他人事ではなく、我々全員が常に意識する必要があります。当支部では引き続き、関係各所と連携し、交通事故をできるだけ軽減するよう取り組んでまいります。



【動画のURL】 <https://www.youtube.com/watch?v=x4pdcUSeFp4>